

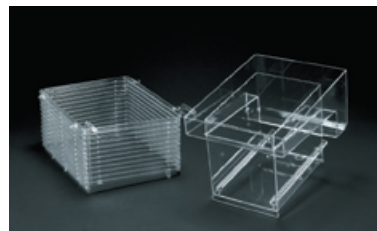
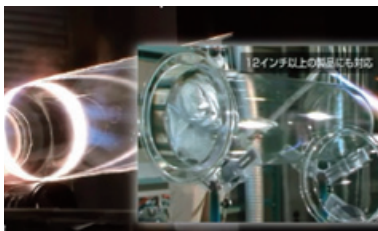
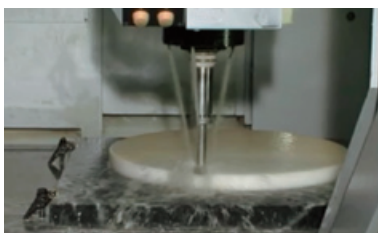
事業のご報告

第45期 株主の皆様へ

2017年4月1日 ▶ 2018年3月31日

株式会社MARUWA

証券コード：5344



成長著しい半導体製品



株式会社 MARUWA QUARTZ 株式会社 MARUWA CERAMIC 株式会社 MARUWA SHOMEI 株式会社 YAMAGIWA

連結業績ハイライト

売上高

38,513 百万円

営業利益

9,174 百万円

経常利益

8,866 百万円

親会社株主に帰属する
当期純利益

5,544 百万円

当期決算のポイント

POINT
1

通信及び
半導体関連市場が好調に推移

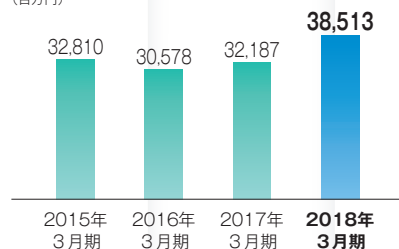
POINT
2

収益に特化した
体質づくりの効果

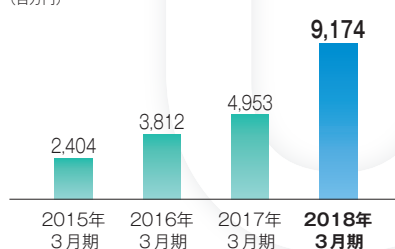
POINT
3

最高収益連続更新

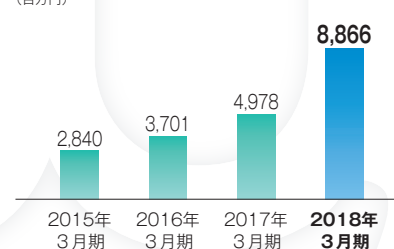
売上高
(百万円)



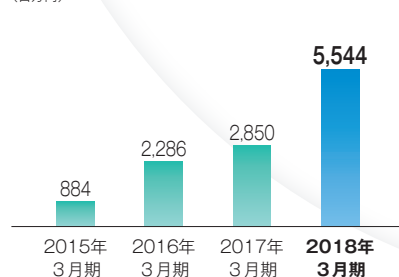
営業利益
(百万円)



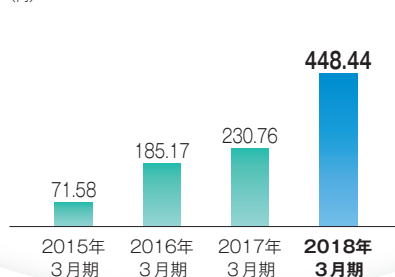
経常利益
(百万円)



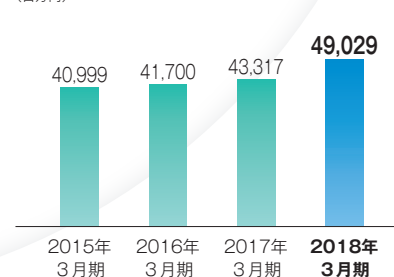
親会社株主に帰属する当期純利益
(百万円)



1株当たり当期純利益
(円)



純資産
(百万円)



株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、2018年3月31日をもちまして、第45期（2017年4月1日から2018年3月31日まで）を終了いたしましたので、ここに「第45期事業のご報告」をお届けし、事業の概況等につきましてご報告申し上げます。

今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2018年6月

代表取締役社長



Q. 当期（2018年3月期）を振り返っていかがでしたでしょうか？

A. 力強い体質づくりの効果が出てきました。

当連結会計年度の業績は、売上高は前期比19.7%増の38,513百万円、営業利益は同85.2%増の9,174百万円、経常利益は同78.1%増の8,866百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は同94.5%増の5,544百万円となりました。

弊社の取り組む市場は総じて好調に推移し、特に、エレクトロニクス市場においては、クラウド・ストレージサービス、AIやIoT、自動車の電装化や高速通信網の整備など、半導体を利用する製品の拡大とそれに伴う設備投資が活発な年となりました。照明市場においては、一般照明のLED

化が一巡してきた一方、弊社が取り組む高輝度LED照明や高演色LED照明は、小型化や光学設計に基づいた独自のLED光源モジュールを搭載した機器が採用され、公共関連施設等で全国に拡大し、宿泊施設や美術館等では設計・設置施工が始まりました。さらに、他社に無い差別化製品の開発、拡販活動、生産性の改善、先を見据えた物づくりを実施してまいりました。その効果は徐々に表れ、結果に結びついたと考えております。

Q. 持続可能な成長のための取り組みが注目され始めた年でもありました

A. MARUWAグループは、社会と企業活動は相互関係にあると考え、社員ひとりひとりが企業理念を胸に切磋琢磨し、社会的責任を十分に認識して活動してまいります

社会から求められている課題の一つとして働き方改革をあげ、企業戦略に落とし込み、取り組みを開始しました。

弊社はグローバルに展開する企業であることから、その働き方の水準を高める必要があると認識しております。会社で長時間働くのではなく、働く質を高めることで付加価値を高め企業価値を向上させていこうというものです。

具体的には、プレミアムフライデーを導入し、これまでの業務内容の見直しを行い、より付加価値の高い仕事をすることで、社員のライフスタイルやスキルの向上、そこから生まれる新しいアイデアを企業活動につなげ、企業価値に結び合わせていきたいと考えております。そこで生まれた価値は、「環境改善とコスト低減」「会社の利益獲得と社会への利益還元」「企業の幸せと社員・株主の幸せ」に結びつくものであると確信しております。

Q. 今後の見通し、配当についてお聞かせください

A. 様々な不透明感があるものの、好調に推移すると考えています。

	次期(2019年3月期) 連結業績予想	当期(2018年3月期) 連結業績結果
売上高	40,300百万円	38,513百万円
営業利益	9,800百万円	9,174百万円
経常利益	9,850百万円	8,866百万円
親会社株主に帰属する 当期純利益	6,550百万円	5,544百万円

米国新政権の運営行方や、新興国の景気刺激策、地政学リスクなど、様々な不透明感が表れているものの、欧州や日本の景気も緩やかながら回復の方向に続いていることから、全体としては、堅調に推移するものと考えています。エレクトロニクス市場においては、スマートフォンの世界出荷台数に減速感が見られますが、大量のデータを利用するAIやIoT関連、車載関連、半導体関連が堅調に推移すると考えております。こうした中、弊社はこれらの市場が要求する材料・機能特性や加工技術など、差別化製品の売上増加や生産性改善等の原価低減活動により、増収増益の着地を予想しております。

セラミック部品事業については、急速に高まっている大容量のデータ送受信やデータ保存・解析需要などは、使用する半導体や電子部品・機器の高性能化により高いストレ

スが発生することから、弊社のセラミック材料技術へのニーズはグローバルに拡大するものと考えております。

さらなる付加価値を高めた製品として、微細な回路パターン印刷技術、モジュール技術などの応用製品が増加しており、今後も拡大し続けるものと考えております。

照明機器事業については、本来のあかりを照らす機能だけでなく、照明機器の高輝度小型化や高演色性の光が求められる市場が増加するものと考えております。

高輝度小型化は、LED素子の性能低下に影響する熱問題を、セラミック材料や配光設計による自社の融合技術によってクリアにし、高演色性を求める照明は、自社開発の光源LEDモジュールを光の質に合わせて制御する機能を持たせるなど、従来のLED照明より付加価値の高い製品需要が拡大していくと考えております。

弊社は、他社が真似できない差別化製品と、選択と集中によって質（利益）を追求し、新しい技術や開発に今後も注力していくとともに、管理体制の見直しや業務の効率化を進め、地域社会の一員として、全員参加で業績目標に向けて邁進してまいります。

株主還元の柱である配当につきましては、利益還元を経営の最重要施策の一つと位置づけており、安定的かつ継続的な配当を行っております。選択と集中のもと、ニッチな市場でグローバルNo.1を目指した取り組みの結果、当期は過去最高の利益を更新することができました。これは、経営に対す

る社員全員参加と収益性向上への取り組み及び地域社会ならびに株主様からのご支援が作り出したものと考えています。

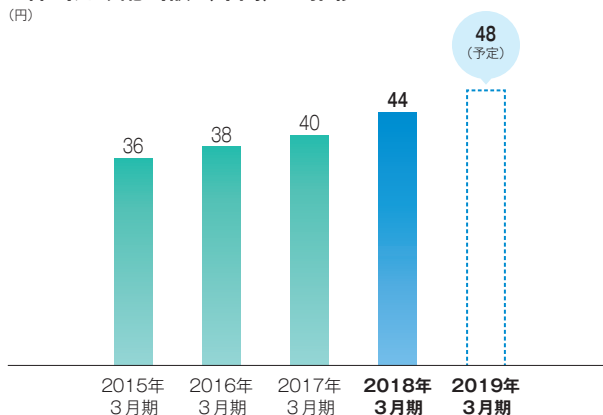
次期の配当につきましては、今後の事業拡大に必要な戦略投資に向けた内部留保を勘案しながら、当期と比べて4円増配した1株当たり年間48円（当期は1株当たり年間44円）を予定しております。

弊社が目指すゴールはまだ先にあり、決して現状に満足しているわけではありません。さらなる成長に向けて、高付加価値の製品開発や量産化に向けた設備投資により、収益性を高めてまいります。

今後ともMARUWAグループの経営内容にご理解をいただき、ご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

1株当たり配当額（年間）の推移

（円）



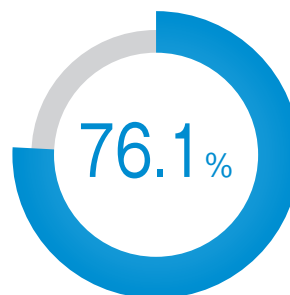
セグメント別の概況と事業領域

セラミック部品事業

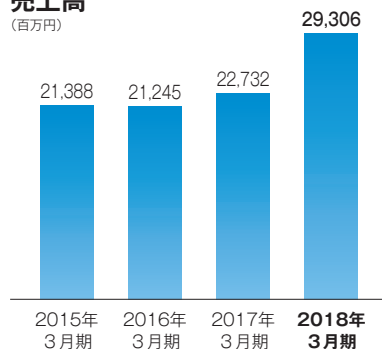
売上高 **29,306** 百万円

当事業につきましては、車載関連、大容量高速通信網への設備投資やクラウドサービス、記憶容量を拡大させた半導体需要の市場が好調に推移し、それらに関連する弊社固有の材料技術や加工・生産技術を活かした差別化製品が増加しました。この差別化製品の増加や生産性の改善による原価低減活動の効果などにより、大幅な増益となりました。

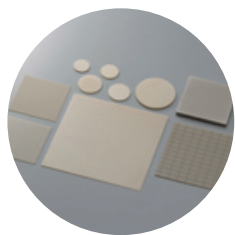
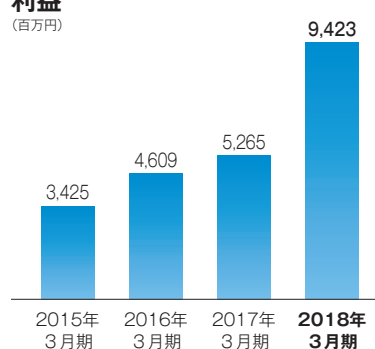
売上高構成比



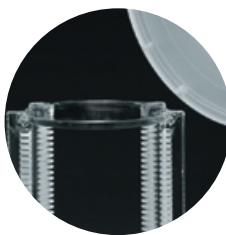
売上高 (百万円)



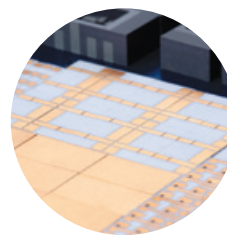
利益 (百万円)



窒化アルミニウム基板



石英ガラス製品



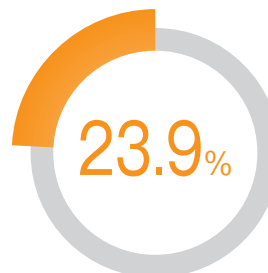
多層回路基板

照明機器事業

売上高 9,206百万円

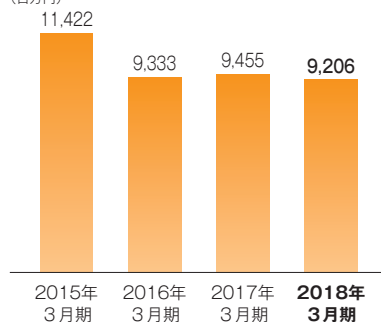
当事業につきましては、公共関連照明のLED照明への交換需要の取り込み案件や、演色性を求める施設向けのハイエンド照明機器の差別化製品の受注活動に特化し、取り組んできました。その結果、差別化製品や費用削減の効果などにより増益となりました。

売上高構成比



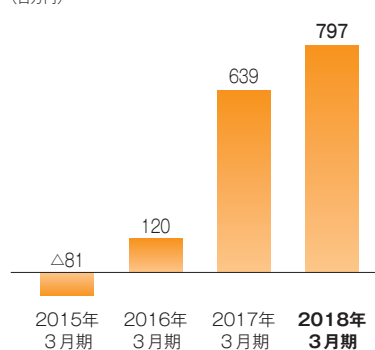
売上高

(百万円)



利益

(百万円)



LED道路照明



LED屋外照明



各種施設照明設計

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

資産の部	前期	当期
	2017年3月31日	2018年3月31日
流動資産	35,213	42,143
現金及び預金	18,027	21,994
受取手形及び売掛金	8,736	9,790
電子記録債権	503	1,047
たな卸資産	6,871	7,668
繰延税金資産	321	472
その他	752	1,169
固定資産	15,380	16,417
有形固定資産	13,126	14,092
建物及び構築物	4,341	5,026
機械装置及び運搬具	3,875	4,053
土地	3,668	3,943
建設仮勘定	679	389
その他	560	680
無形固定資産	299	274
投資その他の資産	1,954	2,049
資産合計	50,593	58,560

負債及び純資産の部	前期	当期
	2017年3月31日	2018年3月31日
流動負債	6,763	8,635
支払手形及び買掛金	3,503	2,428
電子記録債務	—	1,456
1年内返済予定の長期借入金	22	—
未払法人税等	1,024	2,061
その他	2,212	2,688
固定負債	512	895
繰延税金負債	187	495
その他	325	400
負債合計	7,276	9,531
株主資本	44,576	49,614
資本金	8,646	8,646
資本剰余金	11,948	11,996
利益剰余金	24,022	29,048
自己株式	△ 42	△ 77
その他の包括利益累計額	△ 1,259	△ 584
その他有価証券評価差額金	121	166
為替換算調整勘定	△ 1,380	△ 751
純資産合計	43,317	49,029
負債及び純資産合計	50,593	58,560

連結株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
2017年4月1日残高	8,646	11,948	24,022	△ 42	44,576	121	△ 1,380	△ 1,259	43,317
連結会計年度中の変動額									
剰余金の配当			△ 519		△ 519				△ 519
親会社株主に帰属する当期純利益			5,544		5,544				5,544
自己株式の取得				△ 126	△ 126				△ 126
自己株式の処分		47		90	138				138
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)						45	629	674	674
連結会計年度中の変動額合計	—	47	5,025	△ 35	5,037	45	629	674	5,712
2018年3月31日残高	8,646	11,996	29,048	△ 77	49,614	166	△ 751	△ 584	49,029

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前期 2016年4月1日～ 2017年3月31日	当期 2017年4月1日～ 2018年3月31日
売上高	32,187	38,513
売上原価	20,296	21,928
売上総利益	11,890	16,584
販売費及び一般管理費	6,937	7,410
営業利益	4,953	9,174
営業外収益	218	178
営業外費用	193	485
経常利益	4,978	8,866
特別利益	7	16
補助金収入	6	—
その他	1	16
特別損失	683	426
事業整理損	230	100
減損損失	341	—
その他	111	325
税金等調整前当期純利益	4,301	8,456
法人税、住民税及び事業税	1,452	2,765
法人税等調整額	△ 1	146
当期純利益	2,850	5,544
親会社株主に帰属する当期純利益	2,850	5,544

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前期 2016年4月1日～ 2017年3月31日	当期 2017年4月1日～ 2018年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	4,301	8,456
事業整理損	230	100
減損損失	341	—
減価償却費	1,822	1,846
のれん償却額	115	20
売上債権の増減額（△増加）	△ 804	△ 1,214
たな卸資産の増減額（△増加）	△ 58	△ 609
仕入債務の増減額（△減少）	145	267
その他	△ 744	△ 1,322
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,348	7,544
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△ 1,969	△ 2,671
有形固定資産の売却による収入	12	13
その他	708	△ 193
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,247	△ 2,851
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△ 230	△ 22
自己株式の取得による支出	△ 0	△ 126
自己株式の売却による収入	5	—
配当金の支払額	△ 481	△ 519
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 706	△ 668
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 100	△ 59
現金及び現金同等物の増減額（△減少）	3,293	3,965
現金及び現金同等物の期首残高	14,540	17,834
現金及び現金同等物の期末残高	17,834	21,799

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

提案型店舗「yamagiwa home」が名古屋にオープン



「あかりリノベーション®」(※)を具現化した提案型店舗として、あかりを軸としたトータルリノベーションをプロデュースいたします。

住空間における光の効果を体感いただけるスペースを設け、あかりと空間の一体的なリノベーションを提案いたします。

場 所：愛知県名古屋市中区栄3-5-1
名古屋三越 栄店
リビング用品フロア 6F
電話番号：052-252-1671 (直通)
営業時間：10:00 ~ 19:30
定 休 日：名古屋三越 栄店に準ずる

※あかりリノベーション®とは、個人住宅向けの照明プランのサービスで、人とスペースの間にライティングデザインを介在させることで、自邸の満足度の革新を目指すものです。

ホームページ：
<http://renovation.yamagiwa.co.jp>

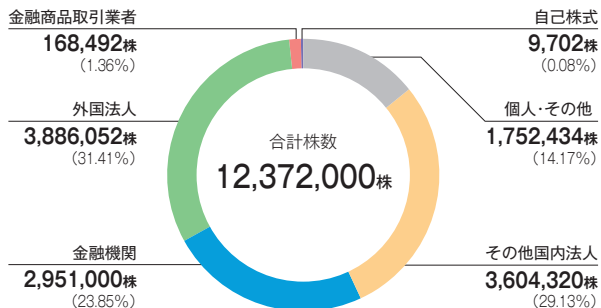
株式の状況／会社概要

株式の状況 (2018年3月31日現在)

■ 発行可能株式総数	26,000,000株
■ 発行済株式の総数	12,372,000株
■ 単元株式数	100株
■ 株主数	2,795名
■ 大株主 ※上位5名を掲載	

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社神戸アート	3,523,520	28.47
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	1,873,000	15.13
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	552,300	4.46
GOVERNMENT OF NORWAY	489,700	3.95
資産管理サービス信託銀行株式会社	345,600	2.79

所有者別株式分布



役員 (2018年6月26日現在)

代表取締役社長	神戸 誠	取締役	及位 環	常勤監査役	熊谷 均
取締役	林 春行	取締役(社外)	北原 晴男	監査役(社外)	光岡 正彦
取締役	マニマラン・アントニ	取締役(社外)	立川 裕大	監査役(社外)	松本 茂裕
取締役	内田 彰				
取締役	神戸 俊郎				

会社概要 (2018年3月31日現在)

商号	株式会社MARUWA
設立年月日	1973年4月5日
事業内容	エレクトロニクス用セラミックス・産業用セラミックス・電子部品及び照明機器の開発・製造・販売
資本金	86億4,672万円
従業員数	1,815名(連結)
本社	愛知県尾張旭市南本地ヶ原町三丁目83番地
工場	土岐工場(岐阜県土岐市) 瀬戸工場(愛知県瀬戸市) 直江津工場・春日山工場(新潟県上越市) 日立工場(茨城県日立市)
営業拠点	東京、愛知、大阪、福島、新潟、福岡
国内子会社	株式会社MARUWA QUARTZ(福島県田村郡三春町) 石英ガラス製品の製造 株式会社MARUWA CERAMIC(愛知県尾張旭市) セラミック製品の製造 株式会社MARUWA SHOMEI(東京都港区) 照明機器の製造・販売 株式会社YAMAGIWA(東京都港区) 照明器具の企画・開発・販売、 照明・インテリア計画の実施及び 照明・家具の輸入・販売
海外	生産拠点 マレーシア 営業拠点 マレーシア、台湾、韓国、 中国(上海・深圳)、イギリス、アメリカ

株主メモ／お知らせ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月開催
- 基準日 定時株主総会・期末配当金／毎年3月31日
中間配当金／毎年9月30日
そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
- 公告方法 電子公告により行います。
公告掲載URL
(<https://www.maruwa-g.com/ir/notification.html>)
※事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
- 上場金融商品取引所 東京、名古屋、ロンドン、シンガポール
- 証券コード 5344
- 株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
※2017年12月8日付で、株主名簿管理人を変更いたしました。
- 株主名簿管理人 名古屋市中区栄三丁目15番33号
事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
- 郵便物送付先 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
- 電話照会先 0120-782-031（フリーダイヤル）

株式会社MARUWA



株主様窓口

株式会社MARUWA 事業管理・IR室
〒488-0044
愛知県尾張旭市南本地ヶ原町三丁目83番地
電話 0561-51-0839（直通）

WEBサイトのご案内

MARUWA WEBサイト内に、事業内容や株主様へのお知らせなどを掲載しております。ぜひご覧ください。



<https://www.maruwa-g.com/ir/>

MARUWA IR

検索